

# 社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

計画の名称	1 利便性向上及び快適で安全な港湾環境の整備																
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度（5年間）		交付対象	室蘭市													
計画の目標	臨港部産業及びリサイクル関連産業等と港湾とを結ぶ臨港道路の整備と保安対策強化により、利便性向上及び快適で安全な港湾環境を形成し利用増大を図る。 幹線道路へのアクセス道路の改良や老朽化している係留施設等の改良及び適切な維持管理により、港湾利用者の利便性及び安全性の向上を図る。																
計画の成果目標（定量的指標）	港湾利用効率化のため、係留施設と背後企業間やふ頭間移動時間の短縮を図る。 建設年次が古く老朽化し、早急な延命化対策の実施が必要な港湾施設24施設のうち平成26年度までに4施設の改良を実施する。 港湾施設を適切に維持するため、14施設の維持管理計画を策定する。																
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値		備考											
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)											
臨港道路整備による移動時間の短縮（現国道7分 - 臨港道路2分 = 5分） 現国道利用の場合の移動時間 = 距離 ÷ 時速 × 60分 × 混雑補正 + 信号待時間（1箇所1min） = 2.0km ÷ 40km/h × 60min × 1.2 + 3min = 7min 臨港道路整備後の移動時間（分） = 距離 ÷ 時速 × 60分 = 1.2km ÷ 40km/h × 60min = 2min				-	5分短縮	5分短縮											
改良を実施した港湾施設数を算出する。 (対策済みの施設の割合) = (対策実施済施設数 / 要対策施設数) × 100(%)				12施設 50%	14施設 58%	16施設 67%											
適切な維持管理を行うため維持管理計画の策定が必要な港湾施設数。 (長寿命化計画策定率) = (計画策定済施設数 / 計画策定総施設数) × 100(%)				14施設 0%	0施設 100%	0施設 100%											
全体事業費	合計 (A + B + C)	966 百万円	A	937 百万円	B	C	29 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	3%								
交付対象事業																	
A 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	港湾	北海道	室蘭市	直接	-	特重	改良	道路の改良（拡幅等）	延長 L=1,200m	室蘭港・入江地区						581	継続
1-A1-2	港湾	北海道	室蘭市	直接	-	特重	改良	道路の改良（拡幅等）	延長 L=577m	室蘭港・築地地区						300	新規
1-A1-3	港湾	北海道	室蘭市	直接	-	特重	改良	岸壁(-7.5m)(改良)車止等取替	延長 L=229m	室蘭港・築地地区						19	統合継続
1-A1-4	港湾	北海道	室蘭市	直接	-	特重	改良	岸壁(-10m)(改良)電気防食取替	延長 L=185m	室蘭港・崎守地区						27	統合新規
1-A1-5	港湾	北海道	室蘭市	直接	-	特重	維持管理	長寿命化計画策定	係留施設12件、橋梁1件、トンネル1件	室蘭港						10	
小計（港湾事業）												937					
合計												937					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
1-C1-1	利用促進	北海道	室蘭市	直接	-	利用促進	室蘭港利用促進事業	パンフレット作成	室蘭港							1	
1-C1-2	保安対策	北海道	室蘭市	直接	-	保安対策	保安施設対策施設整備事業	ケーブル設置、監視室モニター更新	室蘭港・築地地区							10	
1-C1-3	施設整備	北海道	室蘭市	直接	-	案内標識設置	公共埠頭案内看板設置事業	案内看板3基	室蘭港・築地地区							2	
1-C1-4	利用促進	北海道	室蘭市	直接	-	利用促進	ポートセールス事業	ポートセールス	室蘭港							16	
合計												29					
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
1-C1-1	港湾事業(1-A1-1)の完成に合わせ港湾パンフレットを更新し、臨海部産業と入江・築地地区公共埠頭との新たなアクセス道路のPR及び公共埠頭利用PRのため作成を行い利用率の増大を図る。																
1-C1-2	港湾事業(1-A1-3)と一体的に外貿岸壁の監視システムを整備し、港湾施設の安全・安心な保安措置を的確に実施することにより、臨港道路とのネットワークを形成し物流の利便性及び安全性の向上を図る。																
1-C1-3	港湾事業(1-A1-3)と一体的に案内標識を設置し、利用者の利便性の向上を図る。																
1-C1-4	港湾事業(1-A1-1~4)と合わせ臨港道路及び既存岸壁の改良等を実施し、港湾施設の利便性が向上することを、荷主や船舶関係者等港湾利用者に広くPRし本港の利用促進を図り事業効果を高める。																



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 利便性向上及び快適で安全な港湾環境の整備

都道府県名: 室蘭市

チェック欄

. 目標の妥当性	
①地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	✓
②緊急性の高い課題に取り組む内容となっている	✓
. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	✓
②定量的指標の明瞭性	✓
③目標と事業内容の整合性	✓
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	✓
. 計画の実現可能性	
円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	✓
地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	✓